



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

～夏の交通安全県民運動～ 各地区安管協会の活動紹介！

下田地区、富士地区、袋井地区、磐田地区、浜松西地区の安全運転管理協会では、7月1日から10日間の「夏の交通安全県民運動」の期間中、管轄警察署や安協各地区支部などの交通関係団体とともに、交通事故防止を願って、交通安全に向けた街頭活動を行いましたので、その一部を紹介します。

下田地区

7月5日(月) 下田地区安管協会では、下田警察署員とともに下田市柿崎地先のフェニックス広場に設置された「交通安全誓いの像」の清掃作業を行いました。

この「交通安全誓いの像」は、昭和62年に下田警察署員が管内の交通安全を願って設置したもので、当日の清掃作業には、下田署交通課員と下田地区安管協会の土屋会長以下役員、事務局長など総勢8人が参加しました。

下田地区安管協会では、これから夏季に向けて車や人の往来が増えることから、誓いの像が通行車両に注意を促し、交通事故防止につながればと期待しています。



「交通安全誓いの像」



清掃作業の様子



清掃作業の様子



清掃作業に参加した皆さん

富士地区

7月5日(月) 富士地区安管協会では、富士警察署、富士市役所、安協富士地区支部の交通関係団体とともに、井出会長以下役員と事務局長ら22人が参加、総勢40人により、富士地区内でも交通量の多い富士市ロゼシアター前交差点において「夏の交通安全県民運動」に伴う街頭広報活動を行いました。

この街頭広報活動は夕暮れの17時から行われ、参加者は交通安全標語のハンドプレート掲げ、通勤車両等に対して、安全運転や交通事故防止を呼び掛けました。



参加者が中央公園に参集



ハンドプレートで街頭広報

袋井地区

7月9日(金) 袋井地区安管協会では、袋井警察署、森町役場、安協袋井地区・森地区支部等の交通関係団体とともに、平尾理事と事務局長、さらに本年度の安管推進事業所である「豊田合成(株)森町工場」従業員の3人が参加、総勢35人により交通量の多い森町交差点において、「夏の交通安全県民運動」に伴う出会い頭事故の防止を目的とした街頭広報活動を行いました。

街頭広報の参加者は、それぞれのぼり旗を掲出し、通行車両や歩行者に対して、交通事故防止の呼び掛けを行いました。



参集した街頭広報参加者



街頭広報の様子

磐田地区

7月5日(月)の早朝、磐田地区安管協会の会員事業所である「(株)磐田興業」の従業員3人が「夏の交通安全県民運動」に伴う交通安全活動として、富士見小学校や城山中学校の通学路となっている富士見町東交差点において、登校する小中学生の通学指導と通行車両や歩行者に交通安全を呼び掛ける街頭広報活動を行いました。

街頭広報活動は、主に交差点を通学する小中学生の通学指導を実施しましたが、同交差点周辺にペットボトルや空き缶のゴミが散乱していたため、通学児童や通行人等が気持ち良く交差点を横断できるように清掃作業も行いました。



通学指導と交通安全の街頭広報活動



清掃作業の様子

浜松西地区

7月6日(火)の早朝 浜松西地区安管協会では、浜松西警察署と合同で事務局長及び会員事業所の「浜松市平和清掃事業所」従業員10人が参加、計13人により事業所近隣交差点で、「夏の交通安全県民運動」に伴う街頭広報活動を行いました。

街頭広報の参加者は、それぞれのぼり旗を掲出し、通行車両や歩行者に対して、交通事故防止の呼び掛けを行いました。



のぼり旗を掲出して街頭広報活動

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～